

## 第4回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日時 : 平成30年10月17日(水) 午後2時00分から午後4時30分まで

場所 : 鴨川市市民会館2階会議室

出席者 : 以下のとおり

### 【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
3	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
4	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
5	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
6	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
7	橋詰 良子	地域おこし協力隊
8	大内 洋	公募による市民
9	岡野 大和	公募による市民
10	川上 周一	公募による市民
11	庄司 修	公募による市民
12	林 良樹	公募による市民

### 【欠席委員】

No.	氏名	備考
1	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長

2	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
3	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
4	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
5	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
6	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
7	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
8	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部
9	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
10	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長

【説明者】

No.	氏名	備考
1	安田 景憲	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括
2	西村 彩花	城西国際大学観光学部

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	平川 潔	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	影山 光一	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 主査	濱野 和明	事務局

## ■配布資料

- ①次第
- ②計画抜粋資料
- ③前原横渚海岸周辺地図
- ④空き店舗等地図
- ⑤フィッシャリーナ後背地平面図
- ⑥事業仕分け補足資料
- ⑦アンケート用紙
- ⑧海辺倶楽部資料
- ⑨ワークショップ案内
- ⑩前原横渚海岸周辺の魅力に関する計画空き家調査

## ■会議要旨

### 1 開会（午後2時00分）

### 2 委員長あいさつ（渡辺渡辺委員長）

委員会で決定したことが実施段階では、かなり抜けている状況。今後、委員会で決定したことを明示し、実施できていない理由等、それに対して説明を求めることにする。

プラットフォーム活動に関して、本事業費が当てられているので、委員会として責任がある。

今後、何を委員会で決めたのか、また、次回それができるかできないか確認する。

議事録に関しては私が見る。菅原議員、川井議員にお願いするわけだが、決まったことがちゃんと記録に残っているか確認してから署名をお願いする。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、菅原委員及び川井委員が指名された。

### 3 議事

#### (1) 市民会館周辺からフィッシャリーナ後背地にかけての現地視察

事務局（小柴）より、現地視察を行うにあたり、資料②～⑥の資料により、前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画上の位置づけ、土地の状況等の説明を行った。

##### ●計画上の位置づけ

- ・市民会館跡地→エリアマネジメントセンター（P61、62、86、94、95、96、97）

平成30年度 整備計画の検討等

平成31年度以降に整備

- ・フィッシャリーナ後背地→魅力体験広場（P61、62、86、94、95、96、97）

今年度中に整備予定

予算 32,391 千円（整備工事 21,591 千円、機械設備等 10,800 千円）

##### ●土地の所有について

- ・市民会館周辺

公園・駐車場は国所有

(公園(プール含む)部分は千葉県財務事務所管理。隣接する駐車場は行政財産であり、国土交通省所管、千葉県管理)

- ・フィッシャリーナ後背地  
市及び漁協にて所有

●駐車場の状況について(P39、91)

市内駐車場の状況を事業仕分け資料で説明。

芝浜駐車場は、海水浴、サーフィン等マリンスポーツ等の外、市民会館利用者による利用が主であり、夏季シーズン、週末は満車の状況である。

事業仕分けでは、要改善と判定され、

観光地では駐車場の有料化は当たり前ではないのか？

有料化する場合には違法駐車場の対応なども検討すべき。

などの意見が出された。

現況では、土地の状況に駐車場の拡充等は困難。計画の91ページに取り組むべき施策が記載。

城西国際大学観光学部4年西村彩花氏より資料⑩により、空き家調査について説明がなされた。

調査日時 平成30年10月6日(土)午後5時から調査を行った。

調査地区 市民会館からフィッシャリーナ後背地までのプロムナード沿い。

(地図上S1からN20までの70サンプル)

調査内容 住居構造、使用方法、住んでいるかどうかを調べ、住んでいるかどうかは、夕方5時以降の暗い時間に調査をしており、電気がついているかどうかで判断している。不明の場合は、空欄または「?」としている。

現地視察については、本日の議事を終了してからとのこととなり、(2)以降の議事に進む。

(2) 今後の利活用について

事務局(小柴)より、現地視察にあたっての視点を説明。

資料⑦アンケート用紙の項目に記載をしたが。

視察のポイントの原則として計画に基づいた視点でお願いしたい。

- ・市民会館周辺の利用用途
- \*市民会館の状況も確認(エリアマネジメントセンター機能の一部に活用できるか)
- ・フィッシャリーナ後背地の利用用途
- ・駐車場の必要性和その対応
- ・空き店舗等活用可能なものはあるか。
- ・あった方がよいと思われるものの機能、設備はあるか。

## 【質疑応答】

○鈴木副委員長：

今回歩いて回っていただきくにあたり重要なポイントをお話したい。市民会館周辺の土地の所有について、プールと公園は国、市民会館は市、芝浜駐車場は県となっているが、活用の可能性を把握した上で、現実的に有効活用を考えるべき。通らないことに対し案を出し合っても絵に描いた餅になってしまう。

○平川部長：

現実問題制約はあるが、両面からご意見をいただきたい。

○渡辺委員長：

海辺の資源をかけ算をしていく必要がある（スポーツと海辺の施設が結びついていない）。一気に全部はできない。限られた予算（3,000万）のなかでできることを少しずつ行っていく。

現状、海辺の施設等は道路側を向いているものが多く、将来的には海側に向いた形をベースにしたい。今回示された計画は良く考えられていると思う。これを踏まえて展開していくにあたりフェーズ1として、範囲をどのくらいにするかを意識して、後ほど歩いていただきたい。

予算3,000万円については年度内に執行するのか。

○平川部長：

3,000万は、魅力体験広場についての予算となる。センターハウス、案内・受付機能を持たせるための予算。それ以外の観光サインの設置等については、計画の変更が必要となる。

○渡辺委員長：

フィッシャリーナの舗装等の計画を委員会が知らないうちに3,000万使われてもいけないので計画をあげてほしい。

○鈴木副委員長：

一般企業は話し合いの中で予算の融通がきくが、行政は一端全部捨てて新たなものを始めなければならないのか。

○平川部長：

今回の交付金を受けるにあたり、用途を出してあるので、外の目的のものを行うのであれば、交付金とは別の補助金などを見つけてくる必要がある。

○渡辺委員長：

体験広場について何をやるかわからないまま進めるのは良くない。体験広場と今回の見学と跡地利用をリンクさせることで差別化が図れる。

○平川部長：

体験広場については具体的な内容はまだない。時間の制限があり、舗装についての設計だけは、職員を使って進めたい。舗装整備だけで2,000万かかる。

○村永委員：

3,000万の具体的な積算があると思うが、舗装だけでなく緑を植えるなどプラスαで何をやるかによる。的外れにならないよう市の方で方向性はないのか。

○平川部長：

昨年グランピングの実証実験をフィッシャリーナで行った。可動式の施設は有効。これを踏まえて計画の中で、全体のプログラムの受付など体験広場の機能として位置づけられてた。その拠点となるもの

を作っていきたいというのが市の方向性。平米あたり積算し2,000万強、拠点施設1,000万で今年度の契約をしている。箱物がよいのか、建築の必要がないトレーラーハウスのような可動式のもの、両方の視点はある。

○渡辺会長：

グランピングの成果評価を実証しないうちに進めることは問題あり。予算をとるための必要なロジックであろうが、予算ありきで動くことはただ消化するだけになってしまう。フィッシャリーナの舗装に関しては案のみで、委員会では討議していない。

○平川部長：

舗装について決定したものとして引き継いでいる。全体を舗装するつもりでいる。駐車場としても利用も多いので有効に活用できる。

○渡辺会長：

気持ちはわかるが、目的は魅力づくりである。駐車場整備をすれば良い訳ではなく、魅力アップのために何をするのかという視点が必要。

○林 委員：

3,000万をほとんど使うことは決定しているのか。

○平川部長：

使わない選択肢もある。

### (3) プラットフォーム実施事業について

鴨川観光プラットフォーム株式会社 安田景憲事業推進統括から説明がなされた。

#### 【前回の会議を踏まえて、進捗状況を報告】

##### ①ワークショップの開催について

- ・第1回 10月19日18:00~20:00(金) 鴨川市市民会館

講師 アソビュー 伊藤

体験プログラムをネット販売している国内最大手から専門家を呼び参加者に体験プログラムをつくってもらい、講師を交えてブラッシュアップしアクションベースに落とししていく。実際にビジネスをつくっていく

- ・第2回 11月16日(金) 18:00~20:00 鴨川市市民会館

講師 ビレッジインク 橋村

伊豆でグランピングをビジネスにしている。自治体で悩んでいる離島などを観光地化することを自治体から委託を受けビジネスを立ち上げている。11月~1月まできてもらう。グランピングを活用し実際に鴨川でグランピングをビジネスにつなげていく。

##### ②海辺クラブについて

- ・入会の敷居を低くする。(高校生以上とし鴨川市内に限定せず)
- ・南房総圏へ体験プログラムの情報提供し、ビーチヨガ、海辺のランニング、海辺の鑑定団など参加意向確認した。
- ・担い手を養成していきたい。会員同士が相互に手伝うといった設立主旨。
- ・体験プログラムを実施する際に費用がかかる。初期費用5万~50万を上限に補助金を出す。

### ③意見、質問

#### 【砂浜活用について】

##### ○岡野委員：

- ・サーフィン、ジェットスキーは有名。砂浜は何もない状況。そこで、砂浜に目を付けビーチサッカーなどビーチスポーツを取り入れていきたい。
- ・所有者の関係を見るとフィッシャリーナを整備する方がハードルが低い。
- ・当初は市民会館が空く予定だったが、予定どおりいかなかった。そこで、まずはフィッシャリーナを整備し、東に向けて再開発していくべきでは。
- ・ビーチ振興を砂浜におく。砂浜は、台風流木、観光客ゴミ、ガラスなど、ビーチスポーツにはハードルが高い。そこに一部管理された砂浜があることで、昼は子供の遊び場（公園機能）、やイベント、スポーツの場になり得る。

##### ○川井委員：

- ・砂浜が狭い。冬は波がない。

#### 【プラットフォームについて】

##### ○安田事業推進統括：

- ・かもたびサイトのでこ入れ（宿泊＋飲食＋体験などパッケージ化）
- ・海辺の専門の方（地域おこし協力隊）を探している。
- ・海辺の体験プログラムの調整、管理はプラットフォームで一括で行えるよう進めている。

##### ○渡辺委員長：

- ・海辺クラブを早めに募集をかけるべき。
- ・次年度から予算減額。次年度から稼ぐ仕組みが必要。プラットフォームが主体となって魅力づくりを行っていくため1,800万が与えられており責任がある。

##### ○平川部長：

- ・観光振興戦略の報告会の参加のお知らせ。本戦略の推進主体をプラットフォームとしており、機能強化をどうするかが論点となる。

##### ○岡野委員

- ・企業は収益事業と社会事業を分けて考える。プラットフォームは社会事業（赤字でも地域のために投資する）となってしまっている。手数料5%は赤字事業。株式会社なので収益事業と考えるべきで、駐車場収入やテナント収入を得るなどフィッシャリーナを儲かる場所として見る。

#### 【海辺クラブについて】

##### ○鈴木副委員長

- ・絶対倉庫が必要。倉庫機能が必要であると前提で

#### 【フィッシャリーナについて】

##### ○岡野委員

- ・舗装に関して、漁協の土地は現状復旧等の問題はないか。  
→漁協は当該土地について、市に買い戻してもらおう意向が強いと考えている。

##### ○平川部長

- ・夏期駐車場は、観光協会が運営している。有料占用により有料駐車場（1,000円）を運営している。

### 【駐車場について】

○川井委員：

- ・サーファーにより一般の方の駐車スペースがないという苦情も耳にする。
- ・空き家活用となると駐車場が遠いのは不便。

○原田委員：

- ・鴨川といえば海だが、車で見に行こうとする気はない。

### 【その他】

○菅原委員：

- ・ボランティア等で、地域の方と接すると本当に鴨川のことを好きなのか疑問。
- ・やることを道筋をたてて行っていく。

○林委員：

- ・世界から見た鴨川という視点が大事。

○橋詰委員：

- ・海が引き立たないと思う。
- ・お金というよりセンス。お金をかけなくとも市民が参加してものづくりもあり得るのでは。

○川上委員

- ・空き家ビジネスに興味がある。具体化するにはハードルがたくさんあるが、これをなんとかしないとイケない。楽しくなっていくと良いと思う。

### (4) その他

事務局（小柴）

次回の会議について、平成30年11月21日（水）に開催させていただく。

アンケート調査については、別途メールにて送付をさせていただく。

現地調査のコースについて説明。コースは市民会館周辺からまでのフィッシャリーナ後背地、プロムナード沿いに移動をする。

※現地視察後、解散

### 4 閉会（午後4時30分）

---

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成30年10月19日

川井 幹雄

菅原 朋善